

| | | | | | | | | | | | |
|------------|--|-----|-------------|------|---|------|----|---|------------------|--------------|--------------------|
| 科目No. | 関連講座GR583 | 科目名 | 近代石油産業史の総括1 | | | | 副題 | 近代石油産業の興隆から終焉までの出来事を振り返り、石油産業が形成した世界史の展開を考察する | | | |
| 連携機関名 | 社会技術革新学会 | 水準 | 中級 | 教室定員 | 0 | 配信定員 | 20 | 講義日時 | 第3水曜日19:00～21:00 | 拠点 (開講機関) | リモート・西東京 (知の市場) |
| 科目概要(300字) | 近代石油産業は1859年米国で始まった。石油は、照明用、輸送用、ボイラー用、化学用等と用途を広げ、1950年代には一次エネルギー供給の中心となった。1960～2010年代は量的拡大を通じ、世界経済の成長を支えた。その一方で、石油は争奪を巡り戦争の原因となった。第二次大戦は最大の例であり、1990～91年湾岸戦争も石油に起因する戦争である。1990年代には石油の終焉が取りざたされたが、シェール革命により、石油時代は延長された。しかし、地球温暖化対策のための脱炭素政策により、化石燃料の利用は終焉せざるを得ない。移行期間としての石油時代は早晚終わらず、世界はいかに石油時代を終息させるか、資源制約、環境制約、社会制約等の要素から論じる。(300字) | | | | | | | | | | |

| 科目構成 | No. | 講義 | 講義概要(150字以内) | 講義日 | 開講場所 | 取纏め者 | 講師 | 所属 |
|----------|-----|------------------------|--|------------|-----------------|------|------|--------------------------------------|
| 講義で目指すもの | 1 | 近代石油産業の誕生と石油産業の構成要素 | 講義の到達点を確認した上で、19世紀に米国で起こった近代石油産業の特徴を押さえる。また、鉱業(採掘)、輸送業、工業(精製業)の三つの要素からなる石油産業の特質を確認する。 | 2022/10/19 | Zoomを活用してリモート開催 | 須藤 繁 | 須藤 繁 | 石油学会 社会技術革新学会 化学生物総合管理学会 会員 |
| 講義と討議 | 2 | 1970年代の石油危機と成長の限界 | 国際石油産業史の中心をなす国際石油カルテルの時代(1950～60年代)、その後のOPECの時代(190年代)の出来事を振り返る。それらは、1970年代の石油危機勃発の背景とその世界の政治体制、世界経済への影響を振り返ることにつながる。 | 2022/11/16 | | | | |
| | 3 | 余剰産油能力の偏在下の生産調整策の効用と限界 | 1970年代に勃発した二度の石油危機の結果、原油価格は大幅に上昇。その反動によりもたらされた石油需要減、非OPEC産油国の生産増に対抗するために、OPEC産油国は生産調整を行った。生産調整策は一時期効果があったが、各国の資金需要の高まりから1980年代末にはその限界が明らかになった。 | 2022/12/21 | | | | |
| | 4 | ピークオイルと資源ナショナリズム | 1990年代には石油需要の増加から、石油供給の先細り、石油資源の枯渇が懸念される一方、21世紀に入ると南米、旧ソ連圏、アフリカ新興産油国で、資源価格の引き上げを志向する資源ナショナリズム潮流が現れた。 | 2023/1/18 | | | | |
| | 5 | シェール革命と地球温暖化 | 1998年に確立した水平掘り等の技術がもたらしたシェール革命の結果、非在来型の石油資源の生産増は在来型資源枯渇の懸念を払拭し、石油の可採年数を数十年延長した。世界は資源制約からは解放されたが、地球温暖化の進行により、化石燃料の利用が制約されることが明らかになった。2015年にはパリ協定が締結された。 | 2023/2/15 | | | | |
| 総合討論 | 6 | 石油時代の終焉とその姿 | 地球温暖化のための脱炭素政策により、化石燃料は早晚利用できなくなることは動かないものの、その移行期間は長期に及ぶことが予想される。移行期間においてピークアウトした石油需要は大きくは減少しない水準(高原状態)で維持される公算が大きい。石油の移行期間における産油国社会の安定性の確保は世界の課題となる。 | 2023/3/15 | | | | |